

新刊紹介

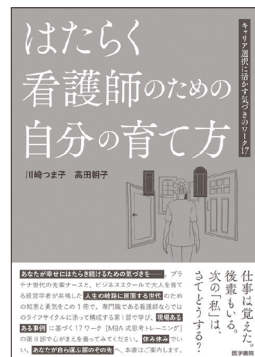


はたらく看護師のための自分の育て方

キャリア選択に活かす気づきのワーク17

著 川崎つま子、高田朝子
発行 医学書院
定価 2200円（本体2000円＋税10％）

看護マネジメントのプロとマネジメント学を研究する教授がタッグを組み、人生の岐路に直面する世代を応援するために知恵と勇気を伝授する。第Ⅰ部で意思決定のときに落ち着いて課題に向き合える心がまえを学び、第Ⅱ部では現場でよくある事例についてMBA式思考トレーニングのワークで思考を鍛える。

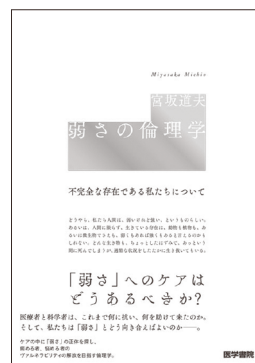


弱さの倫理学

不完全な存在である私たちについて

著 宮坂道夫
発行 医学書院
定価 2420円（本体2200円＋税10％）

あらゆる弱さを抱えながら人は生きている。その弱さはどこからくるのか、弱さとう向き合ってきたのか。人は自らの弱さに対応するためにさまざまな技術を生み出した。だが、その恩恵にあずかれない存在への配慮を蔑ろにし、多くの倫理的問題が露呈した。こうした問題意識をふまえ、弱さのもつ可能性を探究する。



病気と治療の文化人類学

著 波平恵美子
発行 筑摩書房
定価 1320円（本体1200円＋税10％）

「医療人類学」を提唱した38年前の画期的著作の文庫化。どれほど科学が発達しても避けられない病気に対し、人はさまざまな意味づけを行ってきた。シャーマニズムと病気、明治期のコレラ流行時の社会的混乱、ユタの治療の実態などの事例を示し、病気はどのような社会的・文化的意味をもつのかについて論考する。



災害と性暴力

性被害をなかったことにしない、させないために。

著 小川たまか、長江美代子、中野宏美、原田奈穂子、草柳和之
発行 日本看護協会出版会
定価 990円（本体900円＋税10％）

過去の大震災時にも性暴力被害はあった。本書はその実態を明らかにし、メディアの伝え方、性暴力対応看護師の支援、撲滅啓発活動が続けるNPOの視点、被害者支援・加害者更生プログラムを実践するカウンセラーの指摘など、災害と性暴力を多面的にとらえる。同じことを繰り返さないために私たちは何をすべきなのか。

